

看護学科

統合基礎看護学講座

看護形態機能学領域

著 書

- 1 柿原奈保子, 内橋和芳, 山本美保子, 青木茂久, 杉原 甫, 戸田修二: メタボリックシンドロームを理解するための血管周囲脂肪組織の特性と病態解析モデルについて. 粥状動脈硬化症 第3章2. (株)アトムス. 東京 2016.

原著論文

- 1 *Takashima T, Tsukano M, Kawano H: Digestive Endocrine Cell Numbers Contribute to Contraction /Relaxation of the Lower Esophageal Sphincter: Elevating the Nursing-Care Patient After Eating. SAGE Open Nursing 2: 1-5, 2016.
- 2 中村美佳, 小川昌宜, 田浦裕三子, 川崎寿磨子, 川上浩介, 元島成信, 近藤恵美, 中村祥子, 大場隆, 永松美雪: 無侵襲的出生前遺伝学的検査結果が陰性であった妊婦の不安と心理・社会的側面の適応状態. 日本遺伝カウンセリング学会誌 2016.
- 3 ◯Yamamoto M, Uchihashi K, Aoki S, Koike E, Kakihara N, Toda S: Interaction between tyrocytes and adipose tissue *in vitro*. Pathology International. 66(3): 148-157, 2016.
- 4 *Nakayama A, Aoki S, Uchihashi K, Nishijima-Matsunobu A, Yamamoto M, Kakihara N, Iwakiri R, Fujimoto K, Toda S: Interaction between Esophageal Squamous Cell Carcinoma and Adipose tissue *in vitro*. The American Journal of Pathology. 186(5): 1180-1194, 2016.
- 5 ◯Kawasaki-Nanri M, Aoki S, Uchihashi K, Yamamoto M, Udo K, Nishijima-Matsunobu A, Kakihara N, Uozumi J, Toda S: Differential effects of adipose tissue stromal cells On the spotosis growth and invasion of bladder urothelial carcinoma between the superficial and invasive types. International Journal of Urology. 23(6): 510-519, 2016.
- 6 *Tanaka S, Matsunaga H, Noguchi N, Ishibashi A, Akinaga K, Kakihana N, Fukuyama Y, Shinchi K: Factors Related to Japanese Nurses' Tolerance Toward Indonesian Nurse Trainees. Asian Journal of HUMAN SERVICES. 11: 1-17, 2016.

学会発表

国内全国規模の学会

- 1 柿原奈保子: 創傷治癒回復過程における精油の効果の検討. 第4回看護理工学会学術集会. 2016, 10, 9 -10. 第4回看護理工学会学術集会抄録集 49ページ.
- 2 柿原奈保子: 熱傷皮膚モデルに対する上皮再生過程に影響する因子の検討. 第19回日本アロマセラピー学会学術集会. 2016, 11, 5 - 6. 第19回日本アロマセラピー学会学術集会抄録集 70ページ.

その他の学会

- 1 *高島 利, 塚野美和, 河野 史: 食物摂取が下部食道括約筋に及ぼす影響と看護ケアに関するラットを用いた基礎研究—食後の誤嚥防止のために必要な上体挙上時間に関する考察—. 国際医療福祉大学学会学術大会. 2016, 8, 27-28. 第21巻抄録号 163.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
教授	河野 史	科学研究費助成事業	基盤研究(C) (一般) (代表)	母子分離による脳の形成不全に対する代理母の効果－ラットを用いた形態機能学的解析	1,300 (800)
助教	柿原奈保子	科学研究費助成事業	若手研究(B) (代表)	精油を用いた看護技術のエビデンス確立－照射性潰瘍に対する治療力促進のメカニズム－	260
助教	柿原奈保子	科学研究費助成事業	基盤研究(C) (分担)	母子分離による脳の形成不全に対する代理母の効果－ラットを用いた形態機能学的解析－	100

※ () は繰越金で外数

基礎看護学領域

原著論文

- 古島智恵, 井上範江, 長家智子, 村田尚恵, 坂美奈子: うつむき姿勢保持に対する温罨法およびマッサージによる苦痛緩和効果—60歳以上の健常な高齢者による検討—. 日本看護技術学会誌 15(3): p. 235-244, 2016.
- 古島智恵, 井上範江, 長家智子, 分島るり子, 村田尚恵: 不眠を訴える入院患者への就寝前の足浴の効果. 日本看護技術学会誌 15(1): p. 56-63, 2016.
- 坂美奈子, 長家智子: 看護基礎教育機関における校内研修に関する動向と課題. インターナショナル Nursing Care Research 15(3): pp. 115-123, 2016.
- 坂美奈子, 大池美也子, 原田博子, 能登裕子, 道面千恵子: 看護専門学校の看護教員の授業設計における思考様式－看護学概論担当の看護教員を対象に－. 日本看護学教育学会誌 26(2): pp. 57-67, 2016.

総説

- 長家智子: 日本看護診断学会に期待すること. 日本看護診断学会20周年記念誌 継承と発展 1995-2014, pp. 148-149, 2016.

学会発表

国際規模の学会

- FURUSHIMA C, NAGAIE T, WAKESHIMA R, MURATA N and SAKA M: Effect of Massage for Pain in Maintenance of Face-Down Posture: An Examination of Elderlies. Sixth Pan-Pacific Nursing Conference and First Colloquium on Chronic Illness Care. 2016, 3, 2-4. Abstract Book of the Sixth Pan-Pacific Nursing Conference and First Colloquium on Chronic Illness Care, p.95.

国内全国規模の学会

- 古島智恵, 浅香真知子, 琴岡憲彦, 野出孝一: 心不全患者に対する緩和ケアについての意識調査－看護師を対象とした分析－. 第20回日本心不全学会学術集会. 2016, 10, 7-9. 第20回日本心不全学会学術集会プログラム・抄録集 p. 379.
- 古島智恵, 長家智子, 坂美奈子: うつむき姿勢保持に対する自動運動の苦痛緩和効果の検証. 日本

看護技術学会第15回学術集会. 2016, 9, 24-25. 日本看護技術学会第15回学術集会講演抄録集 p. 123.

- 3 池田陽子, 長家智子, 分島るり子, 村田尚恵, 古島智恵: 主体的学習に影響を及ぼす要因に関する文献検討. 一般社団法人日本看護研究学会第42回学術集会. 2016, 8, 20-21. 日本看護研究学会雑誌 39(3), p. 206.
- 4 長家智子: 質の高いケアにつなぐ看護診断. 第22回日本看護診断学会学術大会. 2016, 7, 2-3. 看護診断 21(2), p. 36-37.
- 5 岡登志子, 長家智子, 江頭恵美子, 清松和子, 川崎美紀子, 植村 藍: 看護記録監査による看護記録と看護師の意識の変化. 第22回日本看護診断学会学術大会. 2016, 7, 2-3. 看護診断 21(2), p. 101-102.
- 6 大島弓子, 池松裕子, 小松万喜子, 長家智子, 三上れつ: 日々の疑問を研究に Part 3 看護診断研究のいろいろ. 第22回日本看護診断学会学術大会. 2016, 7, 2-3. 看護診断 21(2), p. 77.
- 7 下川愛恵, 長家智子, 分島るり子, 村田尚恵, 古島智恵: 看護師のキャリア・アンカーに関する文献検討. 一般社団法人日本看護研究学会第42回学術集会. 2016, 8, 20-2. 日本看護研究学会雑誌 39(3), p. 271.

地方規模の学会

- 1 坂美奈子: 看護基礎教育機関における校内研修に関する動向と課題－校内研修に関する文献検討から－. 日本看護研究学会第21回九州・沖縄地方会学術集会. 2016, 11, 12. 日本看護研究学会第21回九州・沖縄地方会学術集会抄録集 p. 32.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
講師 (特定)	古島 智恵	科学研究費助成事業	若手研究(B)	うつむき姿勢保持の身体への影響および自動運動による苦痛緩和効果についての研究	800
准教授	村田 尚恵	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	新卒看護師の職務上の困難を乗り越える力を促進する看護管理モデル	1,560

在宅看護学領域

原著論文

- 1 Sae TANAKA, Hitomi MATSUNAGA, Norihito NOGUCHI, Kaoru SHIBAYAMA, Akina ISHIBASHI, Kazuyuki AKINAGA, Nahoko KAKIHARA, Yumi FUKUYAMA, Koichi SHINCH: Factors Related to Japanese Nurses' Tolerance Toward Indonesian Nurse Trainees. Asian Journal of Human Services Vol.11: 1-17, 2016.
- 2 古野貴臣, 藤野成美, 前原修一, 齋藤嘉宏, 成清応任, 住吉悟史, 土井歌織, 荒川祥子, 宮崎恭輔, 三池優起子: 統合失調症者の服薬意識向上に影響を与えた精神科看護師による日常的な服薬支援. インターナショナル Nursing Care Research, 15巻, 3号, 2016.

総説

- 1 福山由美, 新地浩一: 佐賀県の在宅療養支援診療所／病院の活動状況と死亡場所に影響を与える要

因. 佐賀県医師会医界佐賀 Vol. 11 : 59-62, 2016.

学会発表

国際規模の学会

- 1 Yumi Fukuyama, Takaomi Furuno, Yuko Nakakita, Akiko Akiyama: Dying at Home or in the Hospital : Factors influencing the Conditions around Dying. the 3rd Korea-Japan Joint Conference on Community Health Nursing. 2016, 7.
- 2 Takaomi Furuno, Yumi Fukuyama: Dying at Home correlated with Home-Visits by Clinics at a Secondary Medical Area in Fukuoka Prefecture. Asian Society of Human Services Congress in Fukuoka. 2016, 7. Asian Society of HUMAN SERVICES, 43.

国内全国規模の学会

- 1 福山由美, 内田恵美子, 佐々木明子, 津田紫緒, 田中敦子, 高山かおる : 白癩の治療とケアによる在宅療養者の介護予防への試み. 第18回日本在宅医学会大会・第21回日本在宅ケア学会学術集会合同大会. 2016, 7. 第18回日本在宅医学会大会・第21回日本在宅ケア学会学術集会合同大会抄録集 240.
- 2 福山由美, 古野貴臣, 城戸麻衣子, 馬場美代子, 秋山明子 : 佐賀県在宅療養支援診療所・病院の活動状況と死亡場所の経年変化に関する検討. 第75回日本公衆衛生学会総会. 2016, 10. 日本公衆衛生雑誌 63巻, 10号, 505.
- 3 古野貴臣, 福山由美 : 福岡県の在宅療養支援診療所・病院における在宅看取りの3年間の変化. 第75回日本公衆衛生学会総会. 2016, 10. 日本公衆衛生雑誌 63巻, 10号, 519.
- 4 古野貴臣, 藤野成美 : 統合失調症者が服薬意識向上に影響を与えたと感じる看護師の介入. 第42回日本看護研究学会学術集会. 2016, 8, 20-21. 日本看護研究学会雑誌 39巻, 3号, 123.
- 5 城戸麻衣子, 馬場美代子, 古野貴臣, 福山由美 : 看取りを目的とした看多機利用の現状報告. 第75回日本公衆衛生学会総会. 2016, 10. 日本公衆衛生雑誌 63巻, 10号, 522.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
助教	古野 貴臣	科学研究費助成事業	研究活動スタート支援	向精神薬でBPSDの薬物療法を行う認知症高齢者への訪問看護アセスメント指標の開発	2,470

学術(学会)賞

職名	氏名	学術(学会)賞名	受賞課題
准教授	福山 由美 内田恵美子 佐々木明子 津田 紫緒 田中 敦子 高山かおる	第21回日本在宅ケア学会学術集会	最優秀論文賞

精神看護学領域

著 書

- 1 *小田正枝, *山勢博彰, *伊東美佐江, 藤野成美 他: 看護診断の解釈および用語の解説. ロイ適応看護理論の理解と実践第2版 第5章 152-167, 262-270. 医学書院. 東京 2016.

原著論文

- 1 藤本裕二, *藤野裕子, *松浦江美, *楠葉洋子: 看護大学生低学年の職業的アイデンティティの推移と特性的自己効力感及び職業モデルとの関連. 日本医学看護学教育学会誌 25(1): 38-43, 2016.
- 2 古野貴臣, 藤野成美 他: 統合失調症者の服薬意識向上に影響を与えた精神科看護師による日常的な服薬支援. インターナショナル Nursing Care Research 15(3): 153-162, 2016.
- 3 *神谷優美, 藤野成美: 地域活動支援センターを利用する精神障害者の居場所感. インターナショナル Nursing Care Research 15(1): 33-42, 2016.

学会発表

国際規模の学会

- 1 *Sirai H, Fujino N: How do Registered Nurses Working in Psychiatric Wards Deal with their Anger While on Duty?. 19th East Asian Forum of Nursing Scholars. 2016, 3, 14-15. 19th East Asian Forum of Nursing Scholars, 130-131.
- 2 *Yamaguchi F, Tagawa K, Fujino N, Kakehashi M: The causes of mothers' postpartum depression: A comparison between primiparas and multiparas. International Collaboration For Community Health Nursing Research. 2016, 7, 1-3. International Collaboration For Community Health Nursing Research, 45.
- 3 Yuji Fujimoto, *Yuko Fujino, *Emi Matuura, *Yoko Kusuba: Correlation Between the Recovery Level and Background Factors of Schizophrenics in the Community. 19th East Asian Forum of Nursing Scholars. 2016, 3, 14-15. 19th East Asian Forum of Nursing Scholars, 83-84.

国内全国規模の学会

- 1 藤野成美, *重松由佳子: 地域活動支援センターにおいて精神障害者にアウトリーチ支援をしている専門職者の困難. 日本看護科学学会. 2016, 12, 11. 日本看護科学学会抄録集 108.
- 2 *藤野裕子, 藤本裕二: 精神科に勤務する看護師のリカバリー志向性の影響要因. 日本看護研究学会学. 2016, 8, 20. 日本看護研究雑誌 39(3), 236.
- 3 藤本裕二, *松浦江美, *藤野裕子, *上野和美, *中村真理子, *楠葉洋子: 看護大学3年生における職業的アイデンティティの影響要因. 日本看護研究学会学. 2016, 8, 20. 日本看護研究雑誌 39(3), 199.
- 4 古野貴臣, 藤野成美: 統合失調症者が服薬意識向上に影響を与えたと感じる看護師の介入. 日本看護研究学会. 2016, 8, 20. 日本看護研究雑誌 39(3), 18.
- 5 *岩本祐一, 藤野成美: 退院支援における慢性期統合失調症患者の突発的な自殺を経験した看護師の気づき. 日本看護研究学会. 2016, 8, 20. 日本看護研究雑誌 39(3), 41.
- 6 *神谷優美, 藤野成美: 地域活動支援センターを利用する精神障害者の居場所感と QOL, 社会機能と QOL の関連. 日本看護研究学会. 2016, 8, 20. 日本看護研究雑誌 39(3), 40.
- 7 *松浦江美, *楠葉洋子, 藤本裕二, *藤野裕子, *上野和美, *中村真理子: 看護大学生1年次と4

- 年次の特性的自己効力感の比較及び4年間の学修体験との関連. 日本看護研究学会学. 2016, 8, 20. 日本看護研究雑誌 39(3), 200.
- 8 *中村真理子, *藤野裕子, *新田祥子, *松浦江美, 藤本裕二, *楠葉洋子: 看護学生の社会的スキルに関する経年的変化と特性的自己効力感との関連. 日本看護研究学会学. 2016, 8, 20. 日本看護研究雑誌 39(3), 198.
- 9 *新田祥子, *藤野裕子, 藤本裕二, *中村真理子, *松浦江美, *楠葉洋子: 看護大学4学年の特性的自己効力感と看護職の捉え方との関連. 日本看護研究学会学. 2016, 8, 20. 日本看護研究雑誌 39(3), 200.
- 10 *大浦真治, *石橋尚子, *中川龍治, 藤本裕二: 精神科病棟で勤務する看護者の身体合併症看護に対する苦手意識と関連要因について. 日本精神科医学会学術大会. 日本精神科医学会学術大会プログラム・アブストラクト.
- 11 *白井ひろ子, 藤野成美: 精神科病棟に勤務する看護師のワーク・エンゲイジメントに関する検討. 日本看護管理学会. 2016, 8. 日本看護管理学会抄録集 60.
- 12 *上野和美, *片岡 健, *松浦江美, 藤本裕二, *藤野裕子, *楠葉洋子: 看護大学2年生と4年生の職業的アイデンティティの比較. 日本看護研究学会学. 2016, 8, 20. 日本看護研究雑誌 39(3), 221.
- 13 *梅野朱美, 藤野成美 他: 重度要介護者を介護する娘介護者における在宅介護継続を支える肯定的認識. 日本公衆衛生学会. 2016, 10. 日本公衆衛生学会総会抄録集 75, 512.
- 14 *山口扶弥, 藤野成美 他: 出産後の母親における生活上の困難と必要とする支援 初産婦の比較から. 日本公衆衛生学会. 2016, 10. 日本公衆衛生学会総会抄録集 75, 458.
- 15 *山口扶弥, *田川紀美子, 藤野成美: 1歳の子どもをもつ母親の困りごと (第2報). 日本看護科学学会. 2016, 12, 11. 日本看護科学学会抄録集 138.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
教授	藤野 成美	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	精神障害者の地域定着に向けたアウトリーチチームによる地域ケア連携システム開発	2,340
教授	藤野 成美	科学研究費助成事業	基盤研究(C) (分担)	児童虐待予防にむけた自治体保健師と地域組織のパートナーシップモデルの開発	600
教授	藤野 成美	科学研究費助成事業	基盤研究(C) (分担)	看護管理者のための怒り感情マネジメントプログラム開発	300
教授	藤野 成美	科学研究費助成事業	基盤研究(C) (分担)	がん看護に携わる緩和ケア看護師における感情マネジメントプログラム開発	200
助教	藤本 裕二	科学研究費助成事業	基盤研究(C) (分担)	地域で暮らす精神障害者のリハビリとセルフマネジメントにおける楽観性に関する研究	700
助教	藤本 裕二	科学研究費助成事業	若手研究(B)	地域で暮らす精神障害者のリハビリと主観的特性に関する研究	500 (150)

※ () は繰越金で外数

国際保健看護学領域

原著論文

- 1 Noguchi N, Inoue S, Shimanoe C, ShibaSyama K, Matsunaga H, Tanaka Ishibashi A, Shinchi K: What Kinds of Skills Are Necessary for Physicians Involved in International Disaster Response?. *Prehospital and Disaster Medicine*, 31(4), pp.1-10, 2016.
- 2 Noguchi N, Inoue S, Shimamoe C, Shibayama K, Shinchi K: Factors associated with nursing activities in humanitarian aid on disaster relief. *PLOS ONE*, 11(3), e0151170, 2016.
- 3 Noguchi N, Inoue S, Shimanoe C, Shinchi K: Development and validation of the Humanitarian Aid Difficulty Scale for Japanese healthcare workers. *Nursing and Health Sciences*, 18(4), pp.442-449 (Electric Journal), 2016.
- 4 Tanaka S, Matsunaga H, Ishibashi A, Noguchi N, Kakihara N, Shinchi K: Factors related to Japanese nurses' tolerance toward Indonesian nurse trainees. *Asian Journal of Human Sciences* 11, pp.1-17, 2016.

総 説

- 1 福山由美, 新地浩一: 佐賀県の在宅支援診療所／病院の活動状況と死亡場所に影響を与える要因. *医界佐賀* 1117, pp. 59-62, 2016.
- 2 松永妃都美, 田中沙恵, 石橋秋奈, 新地浩一: 東日本大震災被災者の防災対策の実行に影響を与える災害への意識. *日本集団災害医学会誌* 21(2): pp. 210-215, 2016.

学会発表

- 1 Ishibashi A, Tanaka S, Shibayama K, Hanada Y, Yamamoto A, Shinchi K: On the practicum in nursing in international health as practiced in the postgraduate program at Saga University –From the point of view of students–. 2016 ASHS Congress in Fukuoka. 2016, 7, 16-18. 2016 ASHS Abstract Book p62.
- 2 Ishibashi A, Tanaka S, Shinchi K: Learning support for Indonesian nurses candidates based on the Economic Partnership Agreement (EPA) at Saga University. 2016 ASHS Congress in Fukuoka. 2016, 7, 16-18. 2016 ASHS Abstract Book p63.
- 3 Matsunaga H, Ishibashi A, Noguchi N, Shibayama K, Akinaga K, Tanaka S, Yamamoto A, Minamiima R, HANADA Y, Takahashi K, Saho N, Shinchi K: Disaster preparedness required for families with children in Japan. 2016 ASHS Congress in Fukuoka. 2016, 7, 16-18. 2016 ASHS Abstract Book p65.
- 4 *Minamijima R, Fukuyama Y, Ishibashi A, Akinaga K, Tanaka S, Umezaki S, Shinchi K: The activities of the nurse volunteers in the 2016 Kumamoto Earthquake (A Practical Report). 2016 ASHS Congress in Fukuoka. 2016, 7, 16-18. 2016 ASHS Abstract Book p66.
- 5 Shinchi K, Ishibashi A, Noguchi N, Shibayama K, Akinaga K, Tanaka S, Yamamoto A, Minamiima R, HANADA Y, Takahashi K, Saho N, Matsunaga H: How to establish the practical education of international health and nursing for post-graduate Y, e course students? - From the point of view of a Professor-. 2016 ASHS Congress in Fukuoka. 2016, 7, 16-18. 2016 ASHS Abstract Book p66.
- 6 Tanaka S, Matsunaga H, Noguchi N, Shibayama K, Ishibashi A, Shinchi K: Factors Related to Japa-

nese Nurses' Tolerance Toward Indonesian Nurse Trainees. 2016 ASHS Congress in Fukuoka. 2016, 7, 16-18. 2016 ASHS Abstract Book p66.

国内全国規模の学会

- 1 石橋秋奈, 田中沙恵, 松永妃都美, 新地浩一: 国立看護系大学における国際看護の教育の現状と課題. 第31回日本国際保健医療学会学術大会. 2016, 12, 3-4. 第31回日本国際保健医療学会学術大会プログラム抄録集 p57.
- 2 松永妃都美, 新地浩一: 東日本大震災を経験した乳幼児を持つ母親の防災対策の認識. 第18回日本災害看護学会年次大会. 2016, 8, 26-27. 日本災害看護学会誌 18(1), p131.

地方規模の学会

- 1 石橋秋奈, 田中沙恵, 柴山 薫, 山本あゆみ, 花田陽子, 新地浩一: 佐賀大学大学院における国際看護領域の実践課題演習について. 日本国際保健医療学会第34回西日本地方会. 2016, 2, 27. 日本国際保健医療学会第34回西日本地方会プログラム抄録集 p43.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
教授	新地 浩一	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	危機管理能力に優れた国際看護領域の人材育成のための教育モデルの開発研究	1,300
大学院生	石橋 秋奈	政策医療振興財団	研究助成金	国際緊急医療援助活動の外科手術機能における外科看護に関する基礎的研究	620

臨床心理学領域

総 説

- 1 村久保雅孝: 「語られなかったことが語られること」. 臨床ナラティブアプローチ. 第3巻, 4-12, 2016.
- 2 村久保雅孝: 人間性心理学が開拓する実践に即した研究. 人間性心理学研究, 第33巻, 第2号, 101-106, 2016.

学会発表

国内全国規模の学会

- 1 村久保雅孝: いくつもの「定年」を超えてーナラティブによる「私と新しい処遇」の物語ー. 日本産業カウンセリング学会. 2016, 9, 19. 日本産業カウンセリング学会第21回大会発表論文集 82-83.
- 2 村久保雅孝: ベーシック・エンカウンター・グループ研究におけるナラティブ・アプローチの可能性2. 日本人間性心理学会. 2016, 8, 28. 日本人間性心理学会第35回大会発表論文集 88-89.
- 3 *高松 里, 平井達也, 井内かおる, 村久保雅孝, 都能美智代, 吉川麻衣子: エンカウンター・グループが目指すものは何か. 日本人間性心理学会. 2016, 8, 29. 日本人間性心理学会第35回大会発表論文集 104-105.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
准教授	村久保雅孝	科学研究費助成事業	基盤研究(A) (分担)	生活史法による臨床物語論の構築と公共化	260